



2023年1月11日

「世界の美術館 傑作記念コイン ～時代を彩った、女性たちの輝き～」

予約販売のお知らせ

筑波銀行（頭取：生田 雅彦）は、「世界の美術館 傑作記念コイン ～時代を彩った、女性たちの輝き～」の予約販売を1月16日（月）より開始しますのでお知らせいたします。

今年、海外でも有名な浮世絵師、喜多川歌麿が生誕270年を迎えるのを記念し、喜多川歌麿、ドラクロワ、ルブランの名作をモチーフとしたコインが、世界に先駆け日本先行販売となります。

まるで本物の絵画のような四角形のコインは、金貨5種類とカラー銀貨3種類のラインナップとなっており、下記の通り予約販売を開始いたします。

記

1. 販売概要

	種類	販売価格	数量
A	200ユーロ金貨〈ビードロを吹く娘〉	715,000円	限定 450枚
B	50ユーロ金貨〈ビードロを吹く娘〉	187,000円	限定 200枚
C	50ユーロ金貨〈民衆を導く自由の女神〉	187,000円	限定 200枚
D	50ユーロ金貨〈マリー・アントワネット〉	187,000円	限定 200枚
E	金貨3種セット	561,000円	限定 300セット
F	カラー銀貨3種セット	49,500円	限定 1,100セット
G	500ユーロ金貨〈民衆を導く自由の女神〉	3,520,000円	限定 70枚

※いずれも税込価格です。

※各商品特製ケースと発行証明書を付けてお渡しいたします。

2. 予約販売受付期間

2023年1月16日（月）～ 2月3日（金）

※ 数量限定のため、受付期間中であっても販売予定数量に達した場合は、販売を締め切らせていただきます。

3. お引渡し予定日

2023年3月7日（火）以降

4. 販売窓口

当行全営業店（つくばのガマぐち支店（インターネット専業支店）は除きます。）

以 上

報道機関のお問合せ先
筑波銀行 総合企画部広報室
TEL 029-859-8111

Chefs d'œuvre des musées 270e anniversaire de Utamaro



商品の一覧

A. 200ユーロ金貨<ビードロを吹く娘>

715,000円 (税込) 限定450枚

品位：99.9% 重量：31.104g サイズ：38.0mm×29.1mm 状態：プルーフ



B. 50ユーロ金貨<ビードロを吹く娘>

187,000円 (税込) 限定200枚

品位：99.9% 重量：7.780g サイズ：23.0mm×17.7mm 状態：プルーフ



C. 50ユーロ金貨<民衆を導く自由の女神>

187,000円 (税込) 限定200枚

品位：99.9% 重量：7.780g サイズ：23.0mm×17.7mm 状態：プルーフ



D. 50ユーロ金貨<マリー・アントワネット>

187,000円 (税込) 限定200枚

品位：99.9% 重量：7.780g サイズ：23.0mm×17.7mm 状態：プルーフ



Chefs d'œuvre des musées 270e anniversaire de Utamaro



E. 金貨3種セット<B,C,D>

561,000円 (税込) 限定300セット

品位：99.9% 重量：7.780g サイズ：23.0mm×17.7mm 状態：プルーフ



F. カラー銀貨3種セット

49,500円 (税込) 限定1,100セット

品位：99.9% 重量：22.200g サイズ：38.0mm×29.1mm 状態：プルーフ
①ビードロを吹く娘 ②民衆を導く自由の女神 ③マリー・アントワネット



G. 500ユーロ金貨<民衆を導く自由の女神>

3,520,000円 (税込) 限定70枚

品位：99.9% 重量：155.500g サイズ：56.4mm×43.4mm 状態：プルーフ



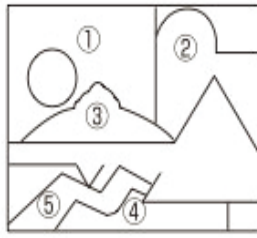
Chefs d'œuvre des musées 270e anniversaire de Utamaro



デザインと解説

共通裏面 (500ユーロ金貨、200ユーロ金貨、50ユーロ金貨、10ユーロカラー銀貨)

フランスを代表する5つの美術館を様々な視点から1枚のコインにコラージュした、独創的なデザイン。「オルセー美術館」のシンボルの大時計(図①)、コインのモチーフの一つでもあるドラクロワの『民衆を導く自由の女神』が収蔵されている「ルーヴル美術館」の中庭から見た外観と「ルーヴル・ピラミッド」をイメージした三角形(図②)、「国立ピカソ美術館」が設けられている17世紀の建造物「サレ館」の彫刻(図③)、彫刻家オーギュスト・ロダンのアトリエで現在は「ロダン美術館」となっている「ピロン邸」の外観(図④)、「ジョルジュ・ポンピドゥー国立芸術センター」の象徴的なチューブ状のエスカレーター(図⑤)で構成されています。コイン右側には、額面が刻まれています。



ビードロを吹く娘 (200ユーロ金貨、50ユーロ金貨、10ユーロカラー銀貨)

江戸時代の浮世絵師、喜多川歌麿(1753-1806年)による「婦女人相十品」シリーズ。赤い市松模様が印象的な着物を身にまとった女性がビードロを吹く姿を描いた代表作。着物の柄やシワなども立体的に表現した彫刻や、浮世絵特有の彩色なども忠実に描かれています。200ユーロ金貨は浮世絵全体、50ユーロ金貨とカラー銀貨は女性にフォーカスした構図で、背景には同作品を収蔵するバリにある「国立ギメ東洋美術館」の図書館のドームがコラージュされています。また伝語で作品名「Jeune fille qui souffle dans une pipe de verre」や作者名、「世界の美術館シリーズ」を表す星印のロゴが刻まれています。



200ユーロ金貨



50ユーロ金貨



10ユーロカラー銀貨



喜多川歌麿『ビードロを吹く娘』

民衆を導く自由の女神 (500ユーロ金貨、50ユーロ金貨、10ユーロカラー銀貨)

19世紀フランスを代表する画家、ウジェーヌ・ドラクロワが、1830年に起きたフランス7月革命を主題に描いた傑作。フランス国旗を右手で掲げ民衆を導く女性は、フランスのシンボルであるマリアンヌの代表的なイメージです。500ユーロ金貨は、横56.4mm、縦43.4mmサイズに、絵画全体を細部まで緻密な彫刻で刻印し、モチーフの迫力そのままに表現されています。50ユーロ金貨とカラー銀貨は、作品中央のマリアンヌにフォーカスした構図で、下部には同作品を収蔵する「ルーヴル美術館」の外観をコラージュしています。周囲には伝語で作者名「Eugène Delacroix」や作品名「La Liberté guidant le peuple」、「世界の美術館シリーズ」を表す星印のロゴが刻まれています。



500ユーロ金貨



50ユーロ金貨



10ユーロカラー銀貨



上/ ドラクロワ『民衆を導く自由の女神』
下/ ルーヴル美術館

Chefs d'œuvre des musées 270e anniversaire de Utamaro



マリー・アントワネット (50ユーロ金貨、10ユーロカラー銀貨)

18世紀に活躍した女性画家、エリザベート＝ルイズ・ヴィジェールブランによる、フランス王妃マリー・アントワネットの肖像画。



50ユーロ金貨



10ユーロカラー銀貨

淡い青色の宮廷衣装に身を包み、薔薇を手に持つ姿を描いた代表作。50ユーロ金貨は、ドレスやレース、帽子などの衣装を立体的に表現するとともに、バラや背景の植物なども緻密な彫刻で描かれています。カラー銀貨は、上半身にフォーカスした構図で、造幣局独自の彩色技術により絵画を繊細かつリアルに表現しています。いずれも下部には同作品を収蔵する「ヴェルサイユ宮殿」の外観をカラージュしています。右側には仏語で作品名「Marie-Antoinette à la Rose」、作者名「Élisabeth Vigée Le Brun」、「世界の美術館シリーズ」を表す星印のロゴが刻まれています。



ルブラン『マリー・アントワネット』

(参考)

「世界の美術館 傑作記念コイン」シリーズについて

フランス国立造幣局が鑄造・発行する、フランスの有名美術館にまつわる代表的傑作を取り上げていくシリーズ。2020年には、生誕260年を迎えた葛飾北斎の代表作『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』と、その影響を受けたピカソやゴッホといった西洋の巨匠たちの名作をモチーフにした金貨と銀貨を発行。また、1921年にパリのジュ・ド・ポーム国立美術館に展示された、ヨハネス・フェルメールの有名絵画『真珠の耳飾りの少女』、1931年にフランスで初めて展示されたサルバドール・ダリの傑作『記憶の固執』、オルセー美術館収蔵のクロード・モネ『睡蓮の池、緑のハーモニー』などをモチーフにした金貨や銀貨も発行されています。



北斎金貨『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』(2020年発行)

「フランス国立造幣局(モネ・ド・パリ)」について

フランスの貨幣鑄造の歴史は、貨幣関係事業を統合したシャルルマーニュ大帝の時代の9世紀にさかのぼります。フランス国立造幣局は、シャルル2世により864年に設立された世界最古の造幣局で、現在に至るまで稼働し続けている最古の企業でもあります。18世紀に建設されたパリの造幣局には、美術館が併設。職人の手作りによる記念コインや勲章、各種装身具などの製作を行っており、その高い芸術性や独創性、デザイン性や技術は高く評価されています。

